

コンクリート診断士試験 合格体験記

清水 勇司 様 (広島県)

西日本高速道路エンジニアリング中国(株) 令和4年度合格

お陰様で、受験番号ありました。

昨年、四択一では70%と合格ラインをクリアしていましたが、論文が不調で落ちました。その失敗から、四択一は1時間内にボーダーを超えられるように準備し、残り時間は記述に全て充てられるように時間配分をしました。

実試験では、思った以上に記述問題(特に設問)が難しく、四択一：1時間 → 記述のアウトライン・構成：1時間 → 書き出し：45分 → 見直し：15分 といった形で3時間を終えました。

結果として、四択一は $27/40=67.5\%$ でしたが、記述問題に2時間充てられたのが良い結果をもたらしたと振り返ります。

また、有資格者である所属長が、快く大量の添削を引き受けていただいたこともあり、どうにか合格したいと思って頑張りました。

この数ヶ月、たかが試験と思っていましたが、本当に鍛えられました。特に、試験直前の期間は、シノダレジユメを何度も何度も反復し、模範論文の写経・音読を繰り返し、気になる箇所は『コンクリート診断技術』を見ては、キーワード集を作る日々でした。

また、篠田先生のおっしゃる通り、参考書に加え自分流のキーワード集を作成することで、格段に理解が深まりました。この経験は、今後受験する技術士、土木学会上級等の試験に活かしていきます。

とは言え、浮かれている暇もなく、11/27にはコンクリート主任技士試験が控えています。盆明けから、例によって篠田先生の参考書で勉強させていただいております。四択一のハードルが高そうですが、診断士同様に記述が合否を決めるとしており、四択一をトレーニング・調整しつつ、記述対策を進めたいと思います。

また、今回の資格取得を今後の受験資格に、来年度はコンクリート構造診断士、道路橋点検士を受験しようと考えています。

今回、コンクリート診断士資格に合格することができたことは、講習会で学んだ内容が大きな力添えになったことは間違いありません。今後、さらなる技術資格の取得を目指して、学んだ勉強方法を取り入れて頑張りたいと思います。

コンクリート診断士試験 合格体験記

M・T 様 (東京都) ゼネコン勤務 令和4年度合格

この度は、コンクリート診断士試験に合格することができました。
ひとえに、受験対策WEB講座のおかげです。
本当にありがとうございました。

個人的なことではありますが、私は数年前まではコンクリート関連の資格にどのようなものがあるか知らないような人間でした。

その後、縁がありコンクリートの施工に関する業務に携わることとなり自己研鑽の一環で、コンクリート技士、コンクリート主任技士を取得しました。施工に携わる側の人間ということもあり、当初コンクリート主任技士取得で満足していたのですが、その後、業務を通じて国内のインフラストックに限りがあることを徐々に痛感し、コンクリート診断士のニーズが一層高まる背景があると考え受験に至りました。

もともとコンクリートとはまるで縁がない分野での出身ということもあり、独学では調査手法や計算問題といった部分に不安が残りました。そんな時、受験対策WEB講座の存在をネット上で知り、その場で講座の申し込みをしました。講座の内容は苦手としていた計算問題に比重が置かれていたことがありがたかったです。

篠田先生の解説を受けたことで今まで苦戦していた計算問題が、目からウロコが落ちるかのごとくすいすい解けるようになりました。また、篠田先生の熱心な解説に心をうたれました。その後も試験直前までWEB講座のテキストを読み込み、無事試験合格することができました。

ちなみに自己採点で、苦手としていた計算問題は全問正解でした。

この度診断士試験合格まで出来たことは受験対策WEB講座のおかげとしか思えません。

また、この流れで、来年は技術士二次試験をコンクリート部門で受験しようと考えています。すでに勉強を始めていて、コンクリート診断士講座で使用した篠田先生の「四択問題 短期集中講座」のテキストをキーワード学習で活用しています。

コンクリート診断士試験 合格体験記

太田 洋平 様 (神奈川県) 電力系企業所属 令和4年度合格

2022年度の試験にて、7度目にしてようやく合格を勝ち取ることができました。

2回目より、本腰を入れて勉強を開始し、当初は4択問題を中心に勉強をしていましたが、参考書の解説ではなかなか理解できず、24/40点前後の獲得点数で合格には至らない年が続きまして。

4回目の受験時に、篠田さんの参考書に出会いました。写真で変状を視認でき、過去問題も初期欠陥から補修・補強まで項目別に集約しているため、項目ごとに集中して勉強することができ、年度別の過去問題で模擬試験を練習することができました。また、解説も分かりやすく素直に腹落ちすることができました。

毎年篠田さんの参考書によると同じ内容の問題がおおよそ3割程度出題されるため、「シノダ・レジュメ」で要点をつかみながら、全問題を繰返し勉強した結果、30問程度獲得することができるようになりました。

私は文才がないので記述式問題には苦労しました。その後、日本コンクリート技術(株)の講習会に参加して、篠田さんから診断士試験は記述式問題が重要性、論文の解答方法を教えていただきました。まずは、キーワードを書き上げること、キーワードの肉付けは短文でまとめあげること、内容は読み手側を意識して分かりやすく記載すること、字は綺麗に書くことなど教えていただきました。

本年度の試験ですが、記述式文問題に時間を重点的に使った結果、4択問題で凡ミスが相次ぎ獲得点数は27/40点(67.5%)と過去私が獲得した点数には及ばない点数でしたが、記述式問題はある程度の自信のもてる解答ができたと思いました。正直、今回も合格するとは思っていなかったのが合格の通知をいただいた時には、大変うれしく、あらためて記述式問題の重要性を実感いたしました。

私ごとですが、次は技術士(建設部門)取得を目指してがんばります。技術士の講習会は開催していないとのことですが、また壁にぶつかった時は篠田さんに相談させていただきます。

コンクリート診断士試験では、篠田さんはじめ日本コンクリート技術(株)には大変お世話になりました。コンクリート診断士試験の知見を業務に生かしてご恩返しできるよう精進いたします。

本当にありがとうございました。

コンクリート診断士試験 合格体験記

崎原 竜磨 様 (沖縄県) 生コン工場勤務 (総合管理) 令和元年度合格

受験の動機は、近年、生コン工場勤務のコンクリート診断士保有者が増えてることもあり、コンクリート診断士に対する憧れや自己研鑽のためです。

私は、年が明けてから勉強を始めました。試験勉強方法は、無理のない勉強計画を試験日から逆算して立てて毎日空いた時間に試験勉強をしました。大事な事は毎日コツコツと勉強をする事だと思います。テキストは、秀和システムの参考書と講習会で頂いた資料をメインに対策をしました。

4択問題は、過去問を解きまくるのが合格への近道！だと思います。秀和システムの参考書には過去問全ての問題と解説が記載されてるのでこの一冊で十分な対策ができました。記述問題は、文章を何度も何度も手書きすることが一番大事な事だと思います。そうすることで文章力の向上にもなり、解答作成のテクニックも自然に身につけてきます。講習会で頂いた資料をメインに記述の対策を行いました。

2019年度から記述問題の試験内容が変わるとの事で、文字数が増えるのか？ これまでの問題Aとして問われてきたような内容は全く出題されなくなるのか？ などと不安なまま試験に挑みましたが、例年通りの問題のままだったことで安心しました。

講習会では計算問題の説明も非常に分かりやすく、特に、記述の対策は講習会での勉強がかなり強みになりました。講習会で得た知識を忘れず、自己研鑽に励みたいと思います。

コンクリート診断士試験 合格体験記

高橋 奈麻美 様 (宮城県) 生コン工場勤務 平成30年度合格

レディーミクストコンクリートは主にスランプや空気量、コンクリート温度及び強度の保証しかありませんが、実際は硬化したコンクリートの変状についての問い合わせが多くあり、それに回答できる知識を身につけたいと思い受験を決意しました。

コンクリート診断士試験は、私にはとても難しく感じていて合格できたらラッキー程度に思っていたのですが、日本コンクリート技術(株)の講習会に参加させていただき、丁寧に教えてくださった先生や参加させてくれた会社のためにも合格したいと思いました。そのため本格的に勉強を始めたのは5月中旬からでしたがテキストの内容がとても充実しており、この一冊でぎりぎり合格することができました。

四択問題の試験対策は、テキストは3回繰り返すのが目標でした。テキストを1回通して解き、間違えた問題はノートにまとめてそのノートは毎日読む。テキスト2回目は間違えた問題だけをとき、それでも間違えた場合はノートに詳しく書く。テキスト3回目は時間が足りずに半分もできませんでした。間違えた問題はテキストに付箋を貼り、正解したら剥がしていたのですが最後まで付箋が多く貼ってある状態でした。

論文対策は、記述Aは国土交通白書から情報を収集し、見えそうな文章を抜き出してまとめていました。よく出題されるコンクリート診断士に必要な技術や心構えなどはテキストから抜き出し、箇条書きにして覚えやすくしました。記述Bは建築に絞って、それぞれの変状に対する一般的な原因や特徴などをまとめた文章を作り、暗記しました。次に問題にある表や条件を文章化する練習をしました。今回出題された論文の問題は過去にも出題されたことがある問題だったので、暗記していた文章を多く書くことができました。

コンクリート診断士試験 合格体験記

仙台の佐藤 様 (宮城県) 生コン工場勤務 (総管理) 平成30年度合格

受験の動機は、主任技士合格の勢いでそのまま。診断士に対する憧れもありました。

アドバイスとして、毎日少しでも必ず勉強する事が大事だと思います。講習会の参加前にテキストを1周以上しておき、分からない箇所を把握しておくとう率が良いと思います。

四択問題は、テキストを使い、過去問を何度も繰り返し解きました。その中で、硬化コンクリートとはどういうものか徐々に理解を深めました。

記述問題の対策は、A問題は、お題を、重要だと思われる3つに絞り、テキストと講習会で配布された資料を基に論文を作成し暗記しました。B問題(建築)は、講習会配布資料等を参考に、B論文の作成パターンを作りました。そこに言葉(キーワード)をはめ込むようなイメージで過去問を何回も解きました。試験中、メインの変状が分からなかったものの、ストーリーを通して最後まで書ききりました。

講習会では、配布資料や講師の方々の説明がとても分かりやすく知識を深めることが出来ました。また、地方から講習会に参加した為、「わざわざ東京まで来て講習を受けたからには合格するしかない」と思い、勉強を継続する良いきっかけになりました。

コンクリート診断士試験 合格体験記

戸田 敦子 様（仮名） （京都府） 公務員 平成28年度合格

講習会ではお世話になりました。

診断士、無事に合格できました。

記述試験ではトンネルまで手が回らず、試験会場への道中で講習会のレジュメを見直して最後にトンネルの項目を復習しましたが、それが功を奏し無事B-2論文を書ききることができました。あの講習会がなければ絶対に落ちていました。本当に講習会のおかげです。計算問題も気持ちのハードルが下がりましたし、電気防食の正負極はただ一つだけ覚えておけばいいとか、試験勉強としての負担が減ったことで気が楽になりました。当日の会場はみなさん完全に手がとまっていたとのことで、帰宅途中もお葬式のような感じでした。私も、あのレジュメの1ページにすべてを託して、あることないこと？書ききりました。受かっている自信がまったくなく、ほぼ無視していた状態だったので、昨日合格通知を見て、自分で驚いています。

来年はメタルと地震が来るかもしれませんね。今後も継続して勉強したいと思います。本当にありがとうございました。

講習会と先生方のおかげです。トンネルは超重要であるにもかかわらず、これまでの試験問題完全スルーで参考書はかすりもせず、JCI診断士本もおまけ扱い。実務では限られた技術者だけが知る世界。普通に参考書過去問まるおぼえでは何も書けなかったと思います。レジュメのまとめは、あまたある論文の中のバラバラの情報をたった一コマのイラストで表現してあって、凄く価値のあるものなのだと分かりました。寧ろ専門外者が中途半端に取り纏めても、偏った思いこみで決め付け論文になっていたと思います。塩害、疲労、化学、ASR、火害がいくら完璧でも、今回のトンネルはお手上げだったと思います。試験のヤマが当たるってこういうことなんだと。

日本コンクリート技術の人はすごいよねと身近の技術士の方と盛り上がっておりました。

別の技術士さんの集まりで、日本コンクリート技術の人は本当にインフラの基準をやり遂げたのは凄いことだなあという話題がありました。その成果を資格にきちんと反映して、レベルの高い試験で、素晴らしいなあと。

トンネルについては、当日までスルーしていて、試験会場に向かうバスの中で詰め込んでいたので、いまでも、危ない危ないと思っているぐらいです。

その後、やる気を継続して、建設部門（コンクリートではないですが）の技術士を目指してコツコツ勉強を始めています。

コンクリート診断士試験 合格体験記

高橋 善彦 様 (新潟県) (株)ダイヤテック 平成27年度合格

動機は上司の指示ですが、早く一人前になりたい一心で受験しました。

診断士、無事に合格できました。

新潟県の場合、試験会場は大概東京になるため、一年目の費用が全部で10万円かかりました。今回不合格となって3回目の10万円を払いたくないのと、早く一人前になりたくて勉強法を探していた時、御社の講習会を知りました。受講すると、少人数のため出題傾向・説明が分かりやすかったです。

受験勉強ですが、まず講習会のテキストである「コンクリート診断士試験項目別全過去問題集」を購入しました。最初に4択問題をすべて解析したため、問題集を一巡するのに3ヶ月かかりました。6月からは4択問題の復習と毎日2題の記述問題の練習を行い、毎日2～3時間で合計350時間勉強しました。

試験当日ですが、4択問題はすぐに終わり、記述式のA問題は笹子トンネルの崩落事故について、原因の特定から改善までの道筋を書きました。B問題は土木の問題を解答しようとしたが糸口がつかめずパニックになりました。しかし、講習会で「案外建築の問題が解きやすいので、土木が駄目なら建築の問題に切り替えると良い。」と講師の方が言っていた事を思い出し、建築問題に取り組んで時間一杯で回答しました。(所要時間は4択：50分、記述A問題：1時間、記述B問題：1時間30分)

私の勉強法は、4択問題はじっくりやって苦手分野を見つけて復習を行うこと、記述問題は「キーワードを選定」「箇条書きで文の構成を作る」を重点的にやることでした。

診断士を目指す方は、どうしても日常業務に追われて自分の時間が削られ、どれ位やれば合格できるかの見当もつかず辛いかもしれませんが頑張ってください。

コンクリート診断士試験 合格体験記

片岡 様 (千葉県) 生コンの製造販売 平成27年度合格

私は、生コン工場にて品質管理業務に携っています。社会資本の高耐久化や環境負荷低減等の重要性が叫ばれる中、私自身更なる知識の修得が必要と感じコンクリート診断士取得を目指しました。

診断士の勉強を進めていく中で記述力不足を感じていた時、会社の先輩から、本講習会を薦められ、「少しでも記述力が向上すればいい」との思いから、受講する事を決めました。講習会は、アットホームな雰囲気が進められ、講師の方々の実体験や他の受講者の意見なども聞く事ができ、私にとって大変プラスとなりました。また、記述問題対策についても、しっかりと時間が確保されていたため、非常に有難かったです。

記述問題の勉強方法としては、実際に書いてみる事が一番だと思います。そして書いたものを読み返し、解答例を参考にして、自分の書いたものに足りない部分を確認していくことが重要だと思います。ちなみに、秀和システムさんから発行されている問題集は、分かりやすい解答例が多くオススメです。上記の勉強方法で、試験当日は残り時間僅かではありましたがなんとか記述問題を書き切ることが出来ました。

最後に、これからコンクリート診断士取得を目指される皆さん、仕事との両立は大変かと思いますが、利用出来るものは最大限利用し、どうか最後まで諦めずに頑張ってください。応援しております。

コンクリート診断士試験 合格体験記

A H様 (愛知県) 地場ゼネコン勤務 (工事部) 平成27年度合格

受験の動機は、構造物の維持管理が大切であることは何となく理解していたつもりでしたが、昨年Sトンネルの事故のニュースを見て深く考えるようになったことです。それと同時にコンクリート診断士の受験を決意しました。

年が明け参考書や過去問題を一通りこなしても手応えが無いなかで、何とかしなければと考えていたところ、日本コンクリート技術の講習会をHP通じて知りました。偶然にもネットで購入した過去問題集も同社が監修していましたので、GWに高速バスを利用して参加させてもらうこととしました。

講師陣は豊富な経験を持つ診断士、技術士といった顔ぶれで、内容は非常に濃いものでした。私はここぞとばかりに独学で理解に苦しんだ問題や、小論文の質問を投げかけましたが、的確な解答をズバっと頂き、満足度の高い東京日帰りツアー（もちろん勉強）を体験できました。

例年、試験後同社以外にもセメントメーカー等が解答を出していますが、その精度はあまり高いものとは言い難い。結果としては日本コンクリート技術の解答が1番精度の高い解答でした。このことから同社の診断士育成力は相当なレベルであると評価できます。

診断士に本当に合格したい方へ是非オススメしたい（近道である）講習会であると言えます。

コンクリート診断士試験 合格体験記

田上 英明 様 (東京都) 中日本ハイウェイエンジニアリング東京(株)

平成27年度合格

受験の動機は、点検業務にて発注者から求められている資格であることと、この資格取得に取り組むことにより調査方法や補修方法について学ぶことができると思ったことです。

コンクリート主任技士に挑戦したときに、一回目の試験では不合格でした。その時の反省としては4択問題と記述式問題ともに対策が中途半端な状態で受験をしたことがありました。このことを踏まえ試験日までの日数から、4択問題の過去問を3回解くには一日何問解けばよいか計算し実行しました。また、記述式問題についても予定をきっちり立てて試験日までに対策がきっちり取れるようにスケジュールをたてました。また、スケジュールどおり実行するために、仕事が終わってからではなかなかやる気にならないので、入社前の約1時間と入社後の始業前約1時間を勉強時間として確保しました。その結果、コンクリート主任技士は二回目の挑戦で合格、コンクリート診断士も1回目の挑戦で合格できました。

上記のような日々の努力に加え、日本コンクリート技術(株)さんで実施しているコンクリート診断士受験対策を受講することが良いと思います。4択問題の対策については自分の理解に間違いがなかったかの確認と記述式問題の対策については記述するためのポイントを学ぶような受講の仕方が良いと思います。

4択問題の対策は、以下の方法を実行しました。①過去問を3回解く。3回目は1・2回目にとけなかった問題についてのみ解く。②1回目解く際に間違った問題は単語帳に要点をまとめ、通勤時間中または空き時間に暗記。また、記述問題の対策は以下の方法を実行しました、①コンクリート診断士の定義・役割を暗記する。②参考書の記述例をノートに書き、キーワードなど骨子をまとめる。③骨子をまとめたものを暗記。④過去問、予想問題を実際を書いてみて、添削を受ける。

過去問を試験同様に時間をはかって解き、4択問題と記述式問題A・Bに要する時間を把握し、タイムスケジュールを立てました。

コンクリート診断士試験 合格体験記

里深 慎太郎 様 (東京都) 地方公務員 平成26年度合格

私は橋梁等の公共インフラを管理している側の人間であり、現在の診断業務は委託がほとんどです。そのため診断結果を理解する能力がないと委託した業者の言いなりになる可能性があります。そこで、診断結果を適切に判断する能力が必要と感じたため受験を決意しました。

本講習会受講の動機ですが、技術系の記述式問題は今まで書いたことがなく、市販の参考書を読んでもどのようにして勉強すればよいのかよく分からなかったためです。講習会では、実際に記述式問題を書かせる練習があって時間間隔がつかめたこと、また書き方や記述式問題に出そうな最新のキーワードを学ぶことができ、受講した価値がありました。

受験勉強の方法は、四肢択一式問題については、過去問を何度も繰り返し、どうしても分からない問題については、この講習会の講師に聞いて学びました。また、記述式問題は、講習会で学んだキーワードをもとに、何通りかのレジメをあらかじめ準備し、それを試験日まで何度も推敲しました。

試験当日ですが、4択問題はすぐに終わり、記述式のA問題は笹子トンネルの崩落事故について、原因の特定から改善までの道筋を書きました。B問題は土木の問題を解答しようとしたが糸口がつかめずパニックになりました。しかし、講習会で「案外建築の問題が解きやすいので、土木が駄目なら建築の問題に切り替えると良い。」と講師の方が言っていた事を思い出し、建築問題に取り組んで時間一杯で回答しました。(所要時間は4択：50分、記述A問題：1時間、記述B問題：1時間30分)

最後に診断士取得を目指す方へのアドバイスですが、記述式問題の勉強の仕方はこの講習会で学ぶのが合格への一番の近道だと考えます。また、四肢択一式問題でどうしても分からない問題についてもこの講習会で解決することができるので、試験には自信を持って臨むことができると思います。